

基本計画7 地域福祉の充実

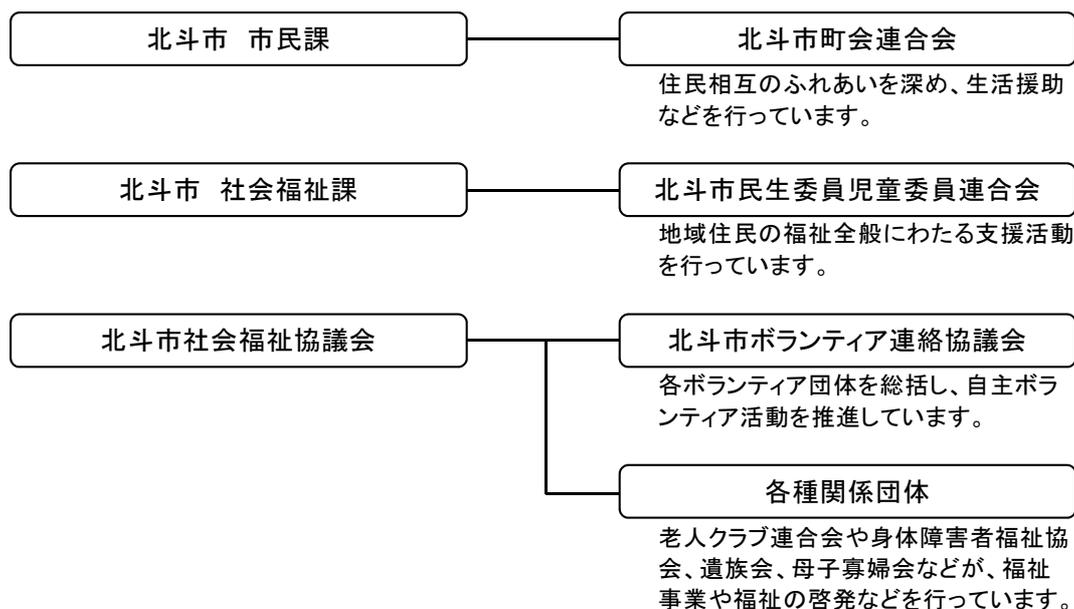
現状と課題

近年、少子高齢化や核家族化の進行、地域とのつながりの希薄化や生活の質の豊かさを重視する志向の高まりなど、地域社会を取り巻く環境が大きく変わってきています。

また、引きこもりや家庭間での支援拒否などによる社会からの孤立、虐待、暴力なども大きな社会問題となっています。

このような中で、誰もが住み慣れた地域で安全に安心して暮らせる社会をつくるためには、行政をはじめとして社会福祉協議会や町会連合会、民生委員児童委員連合会、各種福祉関係団体などが協働し、地域全体でこれらの問題に取り組むとともに、市民一人ひとりが福祉に対する意識を高め、地域福祉の担い手であることの自覚が求められています。また、身近な地域活動への参加を通じて自己研さんに励み、地域福祉の意義や特性を知る学習の機会を持つことが必要です。

■ 地域福祉団体の構成図



成果指標

No.	指標名及び説明	現状値	将来目標値
1	ボランティア団体の登録会員数	168人	200人

[成果指標の現状値・将来目標値について]

- 1 北斗市ボランティア連絡協議会を構成している団体への入会者を増加させる。

主要施策

1 助け合い支え合う活動の推進

- ① 子育て中の家族が孤立しないよう、民生委員児童委員、母子保健推進員などが定期的に訪問するなど、地域ぐるみによる子育て支援を促進します。
- ② 元気な高齢者と支援を要する高齢者が同じ地域に住む市民として、地域の老人クラブなどと連携し、共に助け合い支え合う活動を促進します。
- ③ 地域の一員として、ボランティア活動など社会貢献活動への取組や障がいのある人による就労の機会を充実させるため、市内の企業などへの地域福祉推進に向けた意識啓発を図ります。
- ④ 社会福祉協議会や民生委員児童委員連合会、母子保健推進員会など各種福祉団体の活動を支援し、協働して地域福祉の向上に取り組めるよう活動を支援します。

2 地域福祉活動を担う人材の育成・確保

- ① 社会福祉協議会と連携しながら、ボランティアスクールなどの育成講座を開催し、地域において福祉活動を担う人材を発掘、育成します。
- ② 若年層や勤労者層、地域における活動の大きな力となり得る団塊の世代など多様な層の人に働きかけ、地域福祉活動の担い手となる人材の発掘、育成に取り組みます。
- ③ 民生委員児童委員の人材を掘り起こすため、活動内容等に対する理解促進に向けた取組を推進します。

3 ボランティア意識の醸成と活動団体の育成

- ① 地域活動やボランティア活動などをテーマにした研修会や講座等の充実に努め、地域福祉活動に参画する市民のボランティア意識の向上を図るとともに、学校や地域と連携して子どもたちから気軽にボランティア活動に参加できるようボランティア意識の醸成に努めます。
- ② 市民一人ひとりが持っている技能を活かし、市民の自主的・主体的な参加によるボランティア活動を促進します。

■ 北斗市ボランティア連絡協議会構成団体

団体名	活動内容	会員人数
上磯婦人ボランティア連盟	施設見回り・奉仕活動・ゆうあい祭の行事協力など	21
家庭奉仕の会	施設奉仕活動・福祉関係行事協力など	34
手話サークルLの会	手話通訳の普及活動・手話奉仕通訳、研修活動など	25
ゆうあい地域活動ボランティア委員会	ボランティア養成講座等の開催など	23
青年ボランティア	各種福祉関係行事等協力など	12
大野農業高校ボランティア部	サンタクロース作戦、独居老人・施設ボランティア、清掃活動など	15
函館水産高校ボランティア部	清掃活動、交通安全啓発活動、各種募金活動など	16
ケナフの絆	精神障害者の支援活動	17
ぱれっと	市内の小中学校の調理・工作の体験研修	5

■ 民生委員児童委員の訪問回数

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
訪問回数	14, 222	14, 324	14, 745	14, 387	14, 373